

# 〜東かがわ市〜 引田まちなみマップ



**引田 (ほんだ) 八幡宮**  
引田の氏神で秋の大祭が10月の第2日曜日に行われます。御興波御の際の勇壮な「投げ旗」は有名です。



**かめびし屋** 創業の老舗醤油屋。宝暦3年(1753)製法と類200年以上の歳で長期熟成された醤油は、独特の風味と香りが特徴です。かめびし醤油の名称は歴史が長く、氏神のある魚山の「かめ」と鷹(ひしお)から取ったといわれています。



**東かがわ市**は全国シェア90%を誇る醤油の産地として、昔手袋工場として知られていたことで、昭和の古いミニショップや土産を展示、手袋の作りもできます。



**引田城跡** 江戸時代から続いた商家で「力方の素」という辛口の清酒を製造販売していました。



**日下家** 江戸時代に代々引田村の庄屋、大内蔵の長屋を営んでいた家です。残っている長屋門が国の登録有形文化財に登録されています。



**丸立院** 法華経の寺院で成立は諸説あり。



**木村家** 江戸時代から続く医者の家。



**松村家** 江戸時代中期から引田村 魚の棚において多岐屋の屋号で魚の卸屋を営んでいた商家です。建物は江戸時代末期の建築です。



**泉家** 海産物の販売を本業とするかたわら、酒、たばこの小売を行う商家でした。建物は江戸時代末期の建築です。



**旧松村医院** 昭和初期に建てられた建物。表の建物は母屋、裏の蔵は清酒の製造に使っていました。その後、医院として使われていました。



**空屋邸** 江戸時代から続いた商家で「力方の素」という辛口の清酒を製造販売していました。



**日下家** 江戸時代に代々引田村の庄屋、大内蔵の長屋を営んでいた家です。残っている長屋門が国の登録有形文化財に登録されています。



**カワエ・ヌーベルポスト (旧51田郵便局)** 昭和7年(1932)、日下家により建築された建物で、昭和52年まで開局していました。



**ヘアサロン・ヤキ** 県内最古の理容店。天保年間(1830~1844)にはすでに営業。現在休館中。



**善善坊 (しゃせんぼう) 四国一の仁王像** 真言宗の寺院で、准主松平頼重公の進軍のおりの宿舎となり、客殿を新築し、寺号を西向寺権坊と改称して、寺門の仁王像は江戸時代に作られ四国第一といわれています。 蘭戸内寂庵さんゆかりの寺。



**善覚寺** 引田城の門 (伝承) 真言宗の寺院で、開基は不詳です。浄土真宗の寺院で開基は不詳です。寺の門は、引田城の門を移築したと伝わっています。



**護生寺 (まんしょうじ)** 讃岐三十三観音の7番札所 真言宗の寺院で、永正年中に創建し当初寺名を新坊と称していましたが、江戸期前に現在の寺名に改めています。 空置シツ子さんゆかりの寺。



**神崎家 (屋号: 米屋) (現大島家)** 江戸初期から酒、醤油の醸造や廻船業で財をなし、引田村一の豪商でした。



**山本家** 明治37年(1904)に醤油の製造を始めた醸造元です。建物は明治時代の建築です。



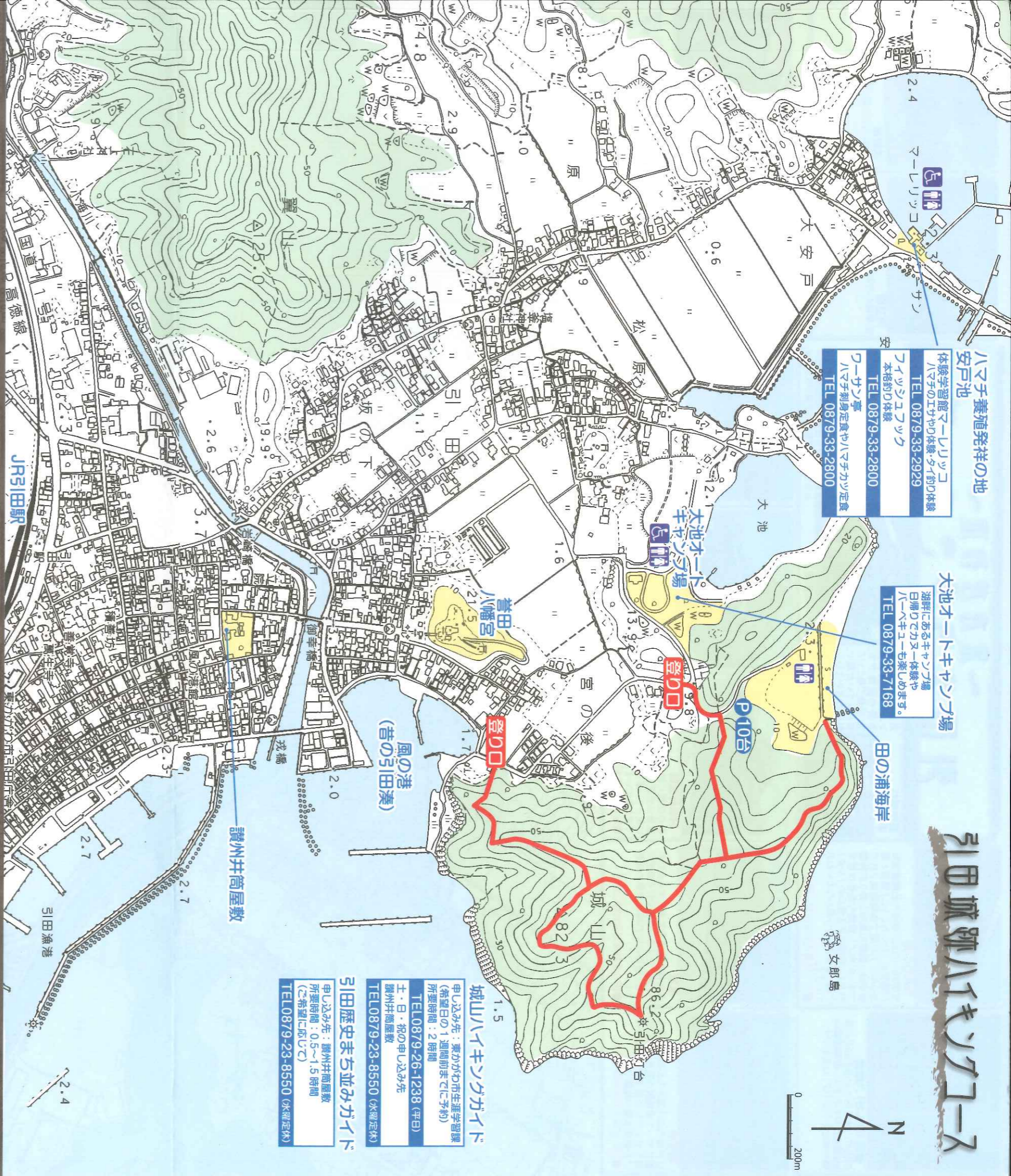
**藤澤南岳の石碑** 天保13年(1842)引田生まれ。幕末に高松藩の危機を救った功労者。孫は小説家の藤澤但夫。



**長崎家** 江戸時代から廻船業をしていた家です。明治時代中頃から醤油の製造も始めました。 (東大館長 南原繁先生療養の場所)



# 引田城跡ハイキングコース



## ハマチ養殖発祥の地

### 安戸池

体験学習館「ルーッコ」  
ハマチのエサやドレ味、タイ釣り体験  
TEL 0879-33-2929

「フイッソコ」  
本格釣り体験  
TEL 0879-33-2800

「フーサン亭」  
ハマチ刺身定食やハマチカツ定食  
TEL 0879-33-2800

## 大池オートキャンプ場

湖畔にあるキャンプ場  
日帰りでもカヌー体験や  
バーベキューも楽しめます。  
TEL 0879-33-7168

## 田の浦海岸

### 城山ハイキングガイド

申し込み先：東かがわ市生涯学習課  
(希望日の1週間前までに予約)  
所要時間：2時間  
TEL0879-26-1238 (平日)

土・日・祝の申し込み先  
讃州井筒屋敷  
TEL0879-23-8550 (水曜定休)

### 引田歴史まち並みガイド

申し込み先：讃州井筒屋敷  
所要時間：0.5～1.5時間  
(ご希望に応じて)  
TEL0879-23-8550 (水曜定休)

# ～まちの特徴など～

## 引田城跡(城山)

戦国時代には、引田城の城主は四宮氏、矢野氏など何度も変わりました。戦国時代の終わりごろの天正15年(1587)に、讃岐国を治めることとなった生駒氏は讃岐国支配の拠点とする高松城と並行して、東讃地方の支城として引田城を利用していました。現在の引田城址には、生駒氏が築いた自然石を積んだ野面積石やたくさん残っているほか、建物の礎石やたくさん瓦がみつかっています。カイトさんとハイキングもできます(予約制)。



## 風の港と引田のまち並み

瀬戸内海を通航する船の要港として栄えてきた引田のまち。城山のおもとの湾は風よけの良港(風待ち港)となっていました。そのため、引田は料亭、酒店、旅館などが100軒程並び、賑わいがありました。北前船の立ち寄り港であったため、物流にも恵まれ、醤油や酒の醸造が盛んになりました。



### 長屋門

長屋門は、客人のお付の人が寝泊まりをしたり、使用人の住居・納屋・作業所などに使われました。日下家の長屋門には馬つなぎの金具が残っています。

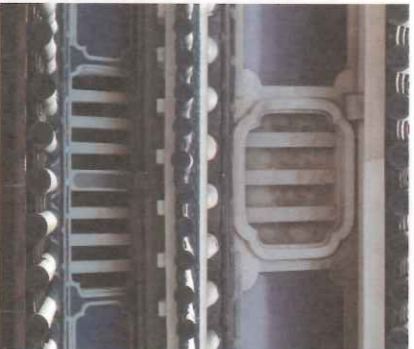
## 海の見える路地

まち並みは、菅田八幡宮を北端に北西から南東に約1kmに渡っています。メインストリートには商家が並び「オカ」と呼ばれ、それに平行した海側の通りは漁師町で「ハヤ」と呼ばれています。そのメインストリートから直角に海に向かって下る幾筋もの細い路地があります。家々の板壁に挟まれた人一人がやつと通る道、その奥に瀬戸の小さな海が光っています。漁家と町家を結ぶ生活の匂いがある道です。



## 厨子二階と虫籠窓(おしごまど)

厨子二階は、二階の天井が通常より低い造りのことです。江戸時代は「町人 武士を見下ろさず」と本二階が禁止されていました。虫籠窓とは町家の厨子二階(つしにかい)に見られる窓です。その名の通り、形が虫籠(むしかご)に似ていることから名付けられました。虫籠窓の形で、その町家が造られたおおよその時代が分かることがあります。



## 入母屋造り

本瓦葺き漆喰壁  
本町通りに面する昔ながらの商家は、入母屋造り本瓦葺きであったことが伺えます。漆喰壁の家が多いが、炭を混ぜた漆喰の家もあります。



## 引田ひなまつり

2月下旬から3月3日までの5日間、地域独特の「引田飾り」と呼ばれる豪華な飾りつけの雛人形を、引田のまち並み一帯に展示します。3月22日の夜には、町並みを行灯(あんどんまつり)が催されます。



## 煙突

酒醸造の家にあり、醸造のときに使われていた煙突が2カ所に残っています。煙突はレンガ造りで地面に直接設置されています。景観のアクセントになっています。

